

科目	コミュニケーション 活動論	時期	1年次後期	単位数	1単位	実務経験
		担当教員	佐藤満里 宮本真雄 奥 由美	時間数	30時間	○
目的	さまざまな他者と関わりあう活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間性を築くための、感性や情操を養う。					
目標	1. ボランティアとして協働参加することで、感性や情操を養う。 2. 手話や点字を学び視覚・聴覚障がい者との交流ができる。 3. さまざまな障がい者・児と交流することや体験を発表することで人々の多様性に気づくことができる。 4. 山口県独自の体験学習法を通して、個人の成長を図り、豊かな人間性を築くための考え方と行動の在り方を学び合う。					
学習内容	【ボランティア活動】 1. ボランティア概論 2. 在宅障害児・者の家族からのメッセージ 3. 障がい児への配慮 4. 身体障がい者への理解 5. 精神障がい者からのメッセージ 6. 手話と点字による情報伝達 7. 聴覚障がい者との交流 8. 視覚障がい者との交流 9. 体験学習発表 【AFPY (Adventure Friendship Program in Yamaguchi) 体験】 ・「体験学習サイクル」を取り入れた体験学習 ①知り合うための活動、②緊張をほぐすための活動、③意思疎通を図るための活動、④課題解決のための活動 ・人間関係を深める活動（アクティビティ）等を生かした、よりよい集団づくり ・自己肯定感の向上、自信の回復 ・個人・集団の成長 ・より良い人間関係づくり					
授業形態	講義、演習					
教材	手話・点字資料、印刷資料					
評価	活動の参加状況 レポート					